

# 第2回臨時議会

5月16日

## 平成26年度 一般会計補正予算 (第1号)

歳入歳出予算に3971万9000円増額し、総額を61億6871万9000円とする。

歳入は繰入金を3971万9000円増額し、歳出は総務費147万9000円、教育費3824万円をそれぞれ増額。



建築基準法の改正により、構造が強化された湯沢学園いろり広場天井

### 歳出の主なもの

#### ●総務費

神立高原スキー場株式会社破産管財人との裁判費用等。

#### ●教育費

交流・アリーナ棟のつり天井耐震強化で3500万円、総合文教施設工事における物価スライド適応内訳の作成委託料324万円。

### 主な質疑

**問** この天井工事でのくらの強度となるのか。

**答** 消防署の次に強度がある。

**問** 平成25年8月15日に天井脱落対策に係る技術基準が告示されたが、久米設計、教育課もこの情報を知らなかったのか。

**答** 教育課は知らなかった。久米設計は、ある程度認識していたはず。

**問** 技術基準告示後の12月に、設計者からの話を踏まえて当初予算で収まると説明したの

に、いきなり3500万円上がるといわれても納得できない。

**答** 3月に出したのが技術基準と想っていた。細かい情報把握ができなくてなく、申し訳なく思う。

**問** 設計以前に中越地震・中越沖地震があり、また着工前に3・11の東日本大震災もあって、子どもたちを安心安全な校舎で学ばせたいというのが大前提で進んできたはず。

安全に学べる校舎が作られていると思っていた。最初の構造自体が甘かったのではないか。

**答** 設計の中では大丈夫だというやり方をやってきたが、基準を改正するにあたって「より安全を強化する」という形が出てきたと思う。

## 反対討論

角谷 勉

学校の建設費は、38億円に9億円が増額され、47億円ですタートした。昨年、教育委員会から前町長あてに「決められた経費の中で執行をするように」という意見書が出されてから、すでに約1億4000万円が増額されている。

また現在、施工者から物価上昇を理由に、3億円以上の増額要求が出されており、町民は学校建設の増額に大きな不信感を持っている。

今回の法改正については、昨年8月に「天井脱落対策に係る一連の技術基準告示」が公布されており、設計会社は改正内容については十分周知していたはずである。

「当初は予算内で処理できると判断していたが、工事の結果3500万円の増額となる」との説明では、理解するに至らない。

### 賛成多数で可決

#### 【賛成8】

夫人雄夫子一貞保  
五雅孝忠眞定利  
輪野井田村澤田  
橋野井田村澤田  
高岸白関宮今半師

#### 【反対3】

夫勉正  
綾守  
橋谷藤  
高角佐